



(この用紙は資源保護のため再生紙を使用しています)

6月 巡回診療日程表

毎月1回は保険証の提出をお願いします

会場	診療日	時間(午後)	担当医
見立	4(水)・18(水)	2:00~ 2:30	松尾医師
虫崎		3:00~ 3:30	
北小浦	11(水)	2:00~ 2:30	
黒姫		3:00~ 3:30	

会場	診療日	時間(午後)	担当医
鷺崎	13(金)・27(金)	2:00~ 3:00	石塚医師
藻浦	9(月)・23(月)	2:10~ 2:40	大森医師
願		3:10~ 3:40	
北鶴島	16(月)	2:15~ 2:45	
真更川		3:00~ 3:30	
江積	19(木)	2:30~ 3:00	小林医師



保健師×モ 軽度認知障害(MCI)について

認知症とは呼べないという状態を軽度認知障害と呼んでいます。その中には高齢で老化による知的能力の低下もあります。今回は、MCIについて紹介します。

厚労省の研究チームが初めて発表した「正常でも認知症でもない、中間にいる状態の高齢者」は、全国に400万人。こうした人々は「軽度認知障害(MCI)」と呼ばれますが、今、医療界ではMCIの人を早期に見つけて発症予防のために手を打とうという試みが始まっています。



MCIに気づくきっかけ

MCI(軽度認知障害)とは

MCI(軽度認知障害)は、年齢のせいだけではない、要注意のもの忘れがあるものの、認知症とまではいえない、正常と認知症の中間の状態をさします。一般の人よりも認知症になるリスクは高く、海外では1年間におよそ5~10%が認知症を発症したという報告もあります。ただし、全員が必ずしも認知症になるわけではなく、正常に回復することもあります。

- 1 同じことを何度も言ったり聞いたりする
- 2 人と会う約束をしたことを忘れる
- 3 最近の印象的な出来事を覚えていない
- 4 電話で聞いたことを家族に伝達できない
- 5 大切な物をなくしたり置き忘れったりする
- 6 薬の管理ができなくなった

1、2回のみならば問題ないのですが、これらの症状が半年程度続いたり、悪化したりするようなら「もの忘れ外来」や精神科、神経内科などで認知症の専門医に相談してください。